

第1学年2組 社会科学習指導案

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-09-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山田, 亘 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00025740

第1学年2組 社会科学学習指導案

指導者 山田 亘

1 学習のくくり「世界の諸地域の特色」(42時間)

2 共通テーマを軸とした教科カリキュラムの構想図

社会科学3年間でめざす姿

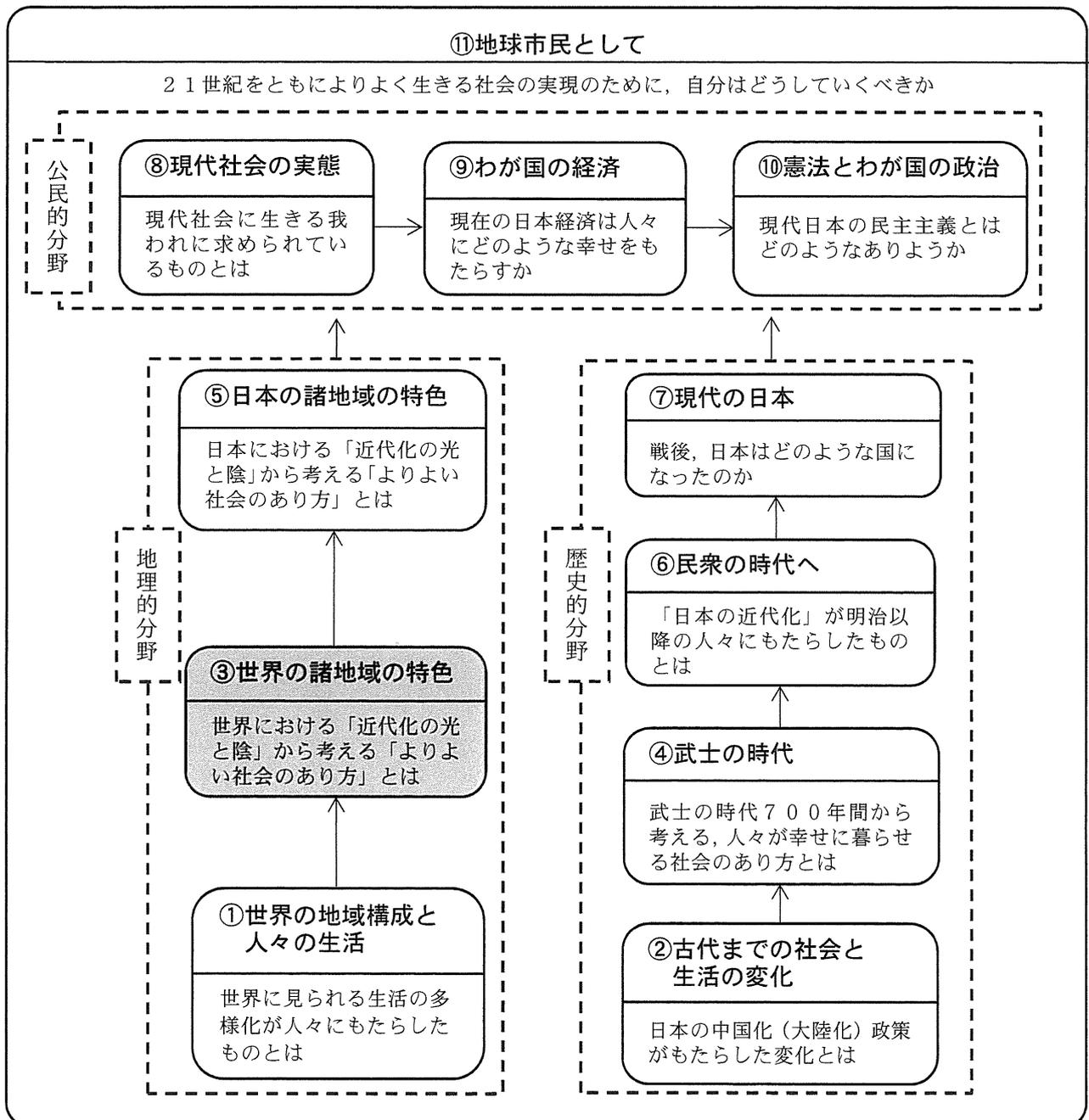
すべての人々が幸せに生きることができる社会の実現をめざし、社会事象を多面的・多角的にとらえ、公正に判断し、社会的な課題を自分にひきつけて考え、ともによりよい社会を築く担い手になろうとする意思をもつ生徒

上段：学習のくくり名

下段：共通テーマ

社会科学3年間の共通テーマ

21世紀をともによりよく生きる社会の実現のために、自分はどうしていきべきか



3 学習のくくり「世界の諸地域の特色」について

(1) 学習の構想表

学習活動 (下線部は本時の学習場面)		育成する資質・能力の要素と階層レベル		知識		スキル			情意	
		A 内容	B 方法	C 認知	D 身体	E 社会	F 興・関	G 追究		
ガイダンス (2)	《共通テーマと共通課題の理解》 ○世界の国々に、ヒトやモノ、カネ、情報などが不均等に分布していることを「貿易ゲーム」から学び、「よりよい社会」についておぼろげながらつかませる。(本時1/1)		3	3						
	○身の回りの生活や、既習の学習のくくりで考察してきた生活のあり方をもとに、近代化が人々にもたらす光と陰を「豊かさや幸せ」という視点から現代の生活について問い直すことで、共通テーマと共通課題を理解する。(1)		4	4			2	2	2	
つかむ学習 (33)	北アメリカ州 (7)	○世界有数の経済大国であるアメリカ合衆国。そこで行われる大規模で合理的な農業、最先端技術を有するハイテク産業などを視点とし現状を考察する。また、それを基盤として、人々が営む大量生産・大量消費をベースとした生活様式の善し悪しについて考え、豊かさとは何か自分の意見をまとめる。(7)	1	1	1					1
			2	2	2		2			
			3	3				2	2	
	アフリカ州 (7)	○発展途上国が多いアフリカ州諸国。その要因について、過酷な自然環境の中で行われる農業、外国に依存する鉱産資源の開発産業などを視点とし現状を考察する。また、現在の脆弱な経済基盤をとらえた上で低迷する食糧自給率問題、経済支援問題などを調べ、本当の豊かさとは何か、北アメリカ州の学びを踏まえ自分の意見をまとめる。(7)	1	1	1					
			2	2	2		2			
			3	3				2	2	
	南アメリカ州 (5)	○経済格差が残る南アメリカ州。各国の経済成長率の比較を通し、都市と産業の発達、環境問題とエネルギー開発とのバランス、それらに伴う人々の営みの変化などを、様々な資料から考察し、持続可能な開発目標(SDGs)について自分の意見をまとめる。(5)	1	1	1					
			2	2	2		2			
			3	3				2	2	
	ヨーロッパ州 (5)	○巨大なユーロ圏を確立したヨーロッパ州。帝国主義時代からEU統合前後の歴史的背景や経過から、人々の生活や地域の変容多様な産業の展開と自然環境の変化について考察する。それをもとにEU統合の成果と課題を人々の生活と関連づけてまとめEUにおける地域特有の課題について説明する。(5)	1	1	1					
			2	2	2		2			
			3	3				2	2	
オセアニア州 (4)	○ヨーロッパからアジア州へと結びつきを強めていくオセアニア州。貿易相手国の変化の要因について、観光や貿易を中心とした産業構造の変化や、貿易品の変化を示す様々な資料をもとに考察する。また、先住民の文化、移民の出身国の変化なども踏まえ多文化社会における地域特有の課題について説明する。(4)	1	1	1						
		2	2	2		2				
		3	3				2	2		
アジア州 (5)	○アジアにおける経済発展をリードする中華人民共和国。発展に伴う人口の増加が及ぼす課題を、居住環境の変化、民族や宗教分布、人口の地域間移動の推移、他国や他地域との結びつきなどの視点を通し考察する。また、その考察結果をもとに、現代のアジア州の人々の幸せについて意見をまとめる。(5)	1	1	1						
		2	2	2		2				
		3	3			3				
追究する学習 (5)	《追究課題の設定》 ○つかむ学習で学んだ6つの州から1つを選択し、近代化は人々の営みに何をもたらしたのか、「近代化の光と陰」という視点から追究課題を設定する。(1)		3	3			3	3	3	
	《追究活動》《交流活動》 ○交流相手の追究内容を認めたり、改善点をアドバイスし合ったりして、「近代化の光と陰」に対する見方・考え方を深める。 ○近代化がもたらした各州の地域的特色とその変容を関連づけて「豊かさや幸せ」という視点から、私たちの営みについてとらえ直し、自分なりの考えをまとめる。(4)		3	3			3	3	3	
つなげる学習 (2)	《交流活動》《振り返りの記述》《振り返りの記述の交流》 ○これまでの学習を振り返り、共通テーマに対する自己の最適解をまとめたり、仲間との交流を通して考えを深めたりする。(2)		4	4			2	3	4	
【期待する生徒の表れ】 ・地域的特色やその変容、各州が抱える地理的な課題やその解決策について多面的・多角的に考察し、記述している。 ・近代化が人々の生活にもたらしたものについて「近代化の光と陰」という視点から各州の地域的特色とその変容を考察し語り合っている。 ・すべての人々が幸せに生きることができるとよりよい社会のあり方を「豊かさや幸せ」という視点からとらえ直している。など										

(2) 本学習のくくりでめざす生徒の姿とその姿に迫るための具体的な手だて

本学習のくくり「世界の諸地域の特色」は、新学習指導要領の地理的分野(2)内容のB「世界の様々な地域」にあたるものである。ここでは(2)「世界の諸地域」の世界の多様な地域とそこに住む人々の生活を主な学習対象とし、世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解する学習を通して、世界の地理的認識を養い、近代化しグローバル化した社会の概要をつかむことをねらいとしたい。

生徒には、社会科の学びのガイダンスの中で、学習構想図を提示し、「社会科3年間でめざす姿」に迫ったり「社会科3年間の共通テーマ」の最適解を見いだしたりする学びをすることで、3年間の学びの共通テーマ「かかわりあいつながりの中で、今、そして未来をともによりよく生きる自分とは」に対する最適解を見いださせるための一端を担いたい。生徒が最適解を見いだすことは、本校の「願う人間像」である「自己を成長させつつよりよい社会の実現のために、社会的に意義のある新たな価値を創造していく人」を育てる一助になると考える。「社会的に意義のある新たな価値を創造する」ことは、世界の近代化とグローバル化が引き起こした弊害を解決する方策の1つである「Society5.0」を生徒が活用し、将来、すべての人々が幸せに生きることができるとする社会を築く担い手になると考える。換言すると、生徒が社会のしくみ全体を最適化し、経済発展と社会的課題の解決の両立ができる社会を築く担い手になると考え、本学習のくくりでめざす生徒の姿を次のように設定する。

世界に生きる人々の生活を「豊かさ」や「幸せ」からとらえ直し、私たちの営みに結びつけながら、「近代化の光と陰」に対する自分なりの見方・考え方を深め、よりよい社会のありようを追究しようとする生徒

本学級の生徒は、社会科に関する基礎的・基本的な語句を正しく理解している生徒が多い。また、疑問に思うことを互いに伝え合ったり、考えを話し合ったりすることで、協同効果をもたらすことが期待できる学級である。そこで、本学習のくくりでは、上記のめざす生徒の姿に迫るために、世界を6つの州に分け、地理に関わる事象をもとに、地理的な課題に着目しながら、それぞれの州に暮らす人々の営みを、自らの営みと比較したり関連づけたりすることで、地域的特色とその変容をとらえさせる。

ガイダンスでは、ヒト・モノ・カネ・情報などのあらゆるものが地球上に不均等に分布していることをおぼろげながらつかませるため「貿易ゲーム」を行う。この活動から、それぞれの担当する国々がおかれている地理的要件は不平等で不公平なことをつかみやすくする。近代化とグローバル化がそれぞれの担当する国々にもたらした光と陰を、自らの営みと比較したり関連づけたりし、自分のこととしてとらえやすくさせたい。その後、本学習のくくりの学習計画表を提示したり、共通テーマや共通課題を示したりして、今後の学習活動の見通しをもたせ主体的な学びに誘う。つかむ学習では、位置や分布、場所、人間と自然との相互依存関係、空間的相互依存作用などを地理的な課題として考察する際の視点とし、各州の地域的特色や、そこでみられる地球的課題と地域的特色の関係をとらえさせる。また、経済発展が進み、人々の生活は便利で豊かになった反面、解決すべき社会的課題は複雑化していることや、現在の社会のしくみでは、経済発展と社会的課題の解決を両立することは困難な状況になっていることをつかませたい。その際、各州の「近代化」と「グローバル化」の光と陰を「シンパシー」ではなく「エンパシー」の視点から、多角的にとらえさせ、自分の考えとして見いださせる。この学習では、様々な学習材や資料から情報を収集し、内容を読み取り、ワークシートに自らの考えを記入させるだけでなく、仲間と意見交流をさせることで対話的な学びに向かわせ、自己の考えを広げさせたい。また、学習計画表の学習内容のまとめりに、共通テーマに対する気づきのメモを記入させる。

追究する学習では、つかむ学習で学んだ各州から1つの州を選択させ、「近代化」が人々の営みにもたらした恩恵と弊害は何か、現在・将来の私たちの営みにどう関与し、どのような影響を与えるものかを問い直させるため、追究課題を設定させ、追究させる。この学習で「近代化」の光と陰に対する見方・考え方をさらに深めさせたい。また、自分なりの「豊かさ」観や「幸せ」観から現代に生きる人々の営みをとらえ直し、すべての人々が幸せに生きることができるとする社会のありようについての思想、見識をもたせたい。つなげる学習では、深い学びとして、この学習のくくりにおける最適解である振り返りの記述をまとめさせ、その思想、見識を班内で交流させ、「近代化」の光と陰に対する自分なりの見方・考え方を深めさせる。そして、振り返りの記述の交流の感想を記述させることで、教科観をさらに深めさせたい。

(3) 本学習のくくりの共通テーマと共通課題

共通テーマ (本質的な問いの 階層レベル)	世界における「近代化の光と陰」から考える「よりよい社会のあり方」とは (レベル④)
共通課題	現代に生きる人々の生活について「豊かさ」や「幸せ」という視点から、近代化した現代の私たちの生活を問い直そう。

4 本時について（本時1 / 4 2）

（1）本時の目標

【社会的な関心・意欲・態度】	「貿易ゲーム」を通してそれぞれの国の「ちがい」をつかもうとする。 (AB3)×(F2)・(G2)
【社会的な思考・判断・表現】	「貿易ゲーム」を通してそれぞれの国の「ちがい」について、自分の考えをまとめることができる。 (AB3)×(C3)

（2）学習過程

●生徒の活動 ※期待する生徒の表れ	・指導上の留意点 ○支援 ◇評価
●学習課題を確認し、本時の見通しをもつ。	・貿易ゲームのルールを確認させる。
それぞれの国の「ちがい」をつかもう。	
●貿易ゲームを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・班員で役割を分担するよう助言する。 ・足りない道具や資源は他の班から購入するように伝える。 ・自分の担当する国名は知らせないように伝える。
●黒板の一覧表からそれぞれの班の担当する国名と結果を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の貿易の結果から、それぞれの国の「ちがい」を見いだすように伝える。
●黒板のスクリーンから貿易ゲームに出てきた国の位置を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易ゲームに出てきた国の位置を世界地図に示す。 ・参加した国の位置を確認させ、気候区分や生活様式について想起させる。
●9か国の「ちがい」をワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易ゲームの結果から、それぞれの国の「ちがい」をまとめるように伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※「貿易ゲーム」を通してそれぞれの国のちがいをつかもうとしている。 ※「貿易ゲーム」を通してそれぞれの国のちがいをについて自分の考えをまとめている。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの国の「ちがい」を見いだせた生徒には、自分たちの班の結果を考察し、この順位になった理由をまとめるように助言する。 ○それぞれの国の「ちがい」を見いだせた生徒には、日本と比べた「ちがい」を記述するよう伝える。
●学習計画表を受け取り、共通テーマや共通課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布した学習計画表から、共通テーマや共通課題を伝える。
●本時の学習を振り返り、共通テーマについて考えたことや気づいたことを学習計画表の「気づきのメモ」に記入する。	◇本時の目標について、※印のような生徒の表れが見られたか。